

研修テキスト

# 新しく教職につかれる皆さんへ

平成15年度版



京都府総合教育センター

# はじめに

新しく京都府において教職につかれる皆さん、心からお祝いを申し上げます。

学校では児童生徒や保護者、同僚などが、皆さんの力に大きな期待を寄せています。今日まで学び、身に付けてきたことが、勤務校において大いに生かされることを願っています。

さて、21世紀を迎え、皆さんの活躍の場となる教育界は、国際化、情報化、少子高齢化など変化の激しい社会の中で、大きな転換期にあります。そして、学校教育においては、社会の変化に主体的に対応する資質や能力として、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力など、「生きる力」の育成を目指すとともに、その実現に向けて、教員一人一人の豊かな人間性と広い社会性、そして高い専門性など、資質能力の向上が一層重要になってきています。

教員としての出発に当たり、このような学校教育に課せられた大きな課題をしっかりと認識するとともに、勤務校における具体的な課題の解決に向けて日々努力されることを期待します。

教員としての職務を遂行する上で必要な専門力量は、教職生涯にわたって、不断の研究と修養に努めることにより高められなければなりません。初任者研修制度は、初任者が着任と同時に先輩教員と同じように責任をもって児童生徒の教育を担当するなど、その職務の特殊性から、円滑に教育活動が展開できるよう、教員としての基礎的・理論的内容と実践的指導力の基礎を確実に習得することをねらいとして、平成元年度から実施されています。この制度は教職生涯にわたる体系的な研修の一環として位置付けられ、勤務校における研修、当センター等における研修からなり、常にそれぞれの内容の充実が図られてきているところです。

当センターにおいては、初任者研修講座のみならず、本府の教育課題の解決や学校の期待にこたえる研究、研修、教育相談、教育情報の収集・活用事業も行っています。21世紀に生きる子どもたちのため、豊かな教育実践が展開できるよう、皆さんが諸先輩と共にこれらの事業にも積極的に参加し、研さんを積んでください。

本書は、日々の教育活動や教育公務員としての服務や職務について、基本的な事柄を収めました。これからの教職生活において大いに活用していただくことを願っています。

平成15年4月

京都府総合教育センター

# 目 次

## 期待にこたえる教員を目指して

1	教員の心構え	1
2	教員の資質能力の向上と教員研修	1
	(1) 必要とされる資質能力	1
	(2) 教員の研修	2
3	社会人として	3
4	教員の日	4

## 「生きる力」をはぐくむ教育を進めるために

1	学校	5
	(1) 学校とは	5
	(2) 学校教育の在り方	5
	(3) 生涯学習における学校の役割	6
	(4) 学校・家庭・地域社会の連携	7
	(5) 特色ある学校づくり	7
	(6) 学校の組織とその役割	8
2	学習指導要領と教育課程の編成	12
	(1) 学習指導要領と教育課程	12
	(2) 教育課程の編成	13
	(3) 盲・聾・養護学校の教育課程	13
	(4) 教育課程の具体化	15
3	教科	17
	(1) 教科指導の基本的な考え方	17
	(2) 学習指導の基本的な在り方	18
	(3) 教材・教具の活用	28
	(4) 学校図書館の利用	29
	(5) 家庭学習	30
	(6) 評価	31
	(7) 学習障害等	33
4	道徳	37
	(1) 道徳教育の目標	37
	(2) 道徳教育の在り方	37
	(3) 道徳教育の内容	38

(4) 指導の基本的な在り方	39
(5) 体験活動を生かした道徳の時間	41
(6) 道徳教育の評価	42
(7) 道徳の時間の指導上の留意点	42
(8) 「心のノート」の活用	43
5 特別活動	44
(1) 特別活動の目標	44
(2) 特別活動の指導の基本	44
(3) 特別活動の内容	45
(4) 指導の基本的な在り方	47
(5) 特別活動の評価	48
(6) 指導上の留意点	49
(7) 体験的な活動	49
6 総合的な学習の時間	51
(1) 総合的な学習の時間のねらい	51
(2) 総合的な学習の時間の学習活動	51
(3) 総合的な学習の時間の評価	54
7 盲・聾・養護学校における領域（道徳、特別活動、自立活動）	55
(1) 道徳	55
(2) 特別活動	55
(3) 自立活動	56
8 教育活動の評価	57
(1) 教育活動の評価の役割	57
(2) 指導要録	57
(3) 日々の学習の評価	57
(4) 学期末の評価と新学期の計画・準備	58
(5) 1年間のまとめと展望	58
9 学級（ホームルーム）経営	59
(1) 学級（ホームルーム）経営の在り方	59
(2) 児童生徒の好ましい人間関係を育てる活動	60
(3) 学級で行われる日常的な活動	60
(4) 教室の環境を整える活動	63
(5) 学級事務	63
(6) 通信簿の意義と作り方	64
(7) 家庭との連携	65

## 教育活動の充実を目指して

1	生徒指導	67
(1)	生徒指導とは	67
(2)	生徒指導と教育相談	67
(3)	児童生徒を取り巻く環境の変化と問題行動	68
(4)	信頼関係の形成	68
(5)	児童生徒理解の具体的な視点	68
(6)	生徒指導の機能を生かした教育活動	69
(7)	盲・聾・養護学校における生徒指導の留意点	70
(8)	家庭・地域社会との連携	71
2	教育相談	71
3	進路指導	73
(1)	進路指導とは	73
(2)	進路指導の在り方	73
(3)	進路指導の内容	76
(4)	指導上の留意点	78
4	人権教育	79
(1)	人権教育とは	79
(2)	「人権教育のための国連10年京都府行動計画」	79
(3)	人権教育推進の視点	79
(4)	学校教育における人権教育	80
(5)	人権問題の現状等	81
(6)	今後の在り方	83
5	健康安全教育	84
(1)	健康安全教育の基本的な考え方	84
(2)	健康安全教育の内容	84
(3)	性教育	90
(4)	エイズに関する指導の意義と重要性	91
(5)	薬物乱用防止に関する指導の意義と重要性	91
6	障害児教育	94
(1)	障害児教育	94
(2)	障害児教育諸機関	96
(3)	障害の種別に応じた教育	97
(4)	教育上の特別な指導や配慮	98
(5)	交流教育	98
(6)	就学及び修学指導	99
(7)	関係諸機関との連携・諸制度の理解	100

7	環境教育	106
	(1) 環境教育の意義と役割	106
	(2) 学校における環境教育の目標と内容	107
	(3) 環境教育の進め方	108
8	国際理解教育	109
	(1) 国際理解教育の在り方	109
	(2) 国際理解教育の目標	109
	(3) 国際理解教育の内容	110
	(4) 指導の実際	110
	(5) 指導上の留意点	111
9	情報教育	112
	(1) 情報教育とは	112
	(2) 情報教育の目標	112
	(3) 情報教育の内容	113
	(4) 学校におけるコンピュータの活用形態	114
	(5) 指導上の留意点	114
10	その他の事項	116

## 今日的教育課題の解決に向けて

1	いじめ問題	121
	(1) いじめについての基本的認識	121
	(2) 児童生徒への指導	122
	(3) 教師の指導力の向上	123
	(4) 保護者や関係機関との連携	123
2	不登校	124
	(1) 不登校状態が継続している理由	124
	(2) 不登校に対応するときの基本的視点	125

## 教職員のサービスと研修

1	教職員のサービス	127
	(1) 教職員のサービス制度	127
	(2) サービス義務の種類と内容	128
2	教職員の研修	130

## 福利厚生制度

1 共済制度	1 3 3
(1) 公立学校共済組合	1 3 3
(2) 公立学校共済組合の事業概要	1 3 3
2 互助制度	1 3 4

## 資 料

1 教育の基本、学校の目的及び学校教育の目標	1 3 5
(1) 教育の基本と法規	1 3 5
(2) 学校の目的	1 3 6
(3) 学校教育の目標	1 3 6
2 公立幼・小・中・高・盲・聾・養護学校数、園児・児童生徒数、教職員数一覧	1 3 8
(1) 公立幼稚園数、園児数、教職員数	1 3 8
(2) 公立小学校数、児童数、教職員数	1 3 8
(3) 公立中学校数、生徒数、教職員数	1 3 8
(4) 公立高等学校数、生徒数、教職員数	1 3 9
(5) 公立盲・聾・養護学校数、児童生徒数、教職員数	1 3 9
3 京都府の略図	1 4 0
附・京都府総合教育センター刊行物	1 4 1